社協瓦版

誰もが暮らしやすいまちを目指して

中区の花「チューリップ」

ふくしなか No.57

平成23年7月

発行所／横浜市中区社会福祉協議会　中区山下町２産業貿易センタービル４階　TEL 681-6664　FAX 641-6078
http://www.nakasha.net　E-mail:info@nakasha.net

「中区みんなで小さなおせっかい宣言」

- お　大きなお世話と言わないで
- せ　世話をやいたり、やかれたり
- っ　次はあなたが誰かのために
- か　交わす笑顔がふえていく
- い　いつもいつでもできること

いいネ!このまち!! 中区の絆

誰もが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるように、小さなおせっかいが溢れる“安心のまち「中区」”をみなさんで目指しましょう！

詳しくは･･･

中区おせっかい宣言　検索

中区社会福祉協議会会長に就任しました

会長／金子　豊

この4月9日、社会福祉法人横浜市中区社会福祉協議会の会長に就任いたしました金子豊でございます。

皆様方におかれましては、日頃から本会に対しまして、深いご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。また、先の東日本大震災に際し、中区内におきましても被害を受けられたことに対しまして、心からお見舞い申し上げます。

さて、近年急速に進む少子高齢社会や経済情勢の変化、さらに大都市に特に顕著な近隣関係の希薄化等により、孤立死や虐待などの福祉課題が深刻化しています。これらの課題の解決には、公的施策の整備とともに、地域のつながりと住民同士の支え合いの充実強化が必要と考えております。あわせて、今までの地域活動の継続や活性化と、次の世代を見据えた人材育成が大事になってきます。

この2つは、今年度からスタートする第2期中区地域福祉保健計画の重要テーマでもあります。私は、中区はもともと都会にありながらも地域のつながりが強いところと感じておりますが、その「絆」をより太く強くすることで、本会の基本理念である「地域に住んでいる一人ひとりが生き生きとして安心して暮らせるまちづくり」が実現されていくことに繋がっていくものと思います。上に掲げた「おせっかい宣言」にあるように、誰もがちょっとした「おせっかい」をしあうことで、「絆」が深まっていき、より一層暮らしやすい中区となっていくのではないでしょうか。

前任の山田会長が築かれた礎を引き継ぎ、地域の皆様、関係団体及び関係機関の皆様とともにより一層の地域福祉の推進に努めて参ります。皆様方からの変わらぬご指導を心からお願い申し上げ、就任にあたっての挨拶とさせていただきます。

TOPIX
2･3ページ　「地区社協はいま」第6地区･新本牧地区の取り組み
4ページ　「東日本大震災　中区から被災地にエールを」の取り組み

「ふくしなか」は区民の方々から寄せられた共同募金の一部を用いて発行しています。

回覧														

地区社協活動紹介

地区社協はいま

今回は、各地区社協で行われている活動のなかから、2つの地区社協の活動とみまもり安心グッズ「おふくろさん」の取り組みについてご紹介します。

第6地区社協

ふれあいまつりを開催

山元小学校コミュニティハウスを拠点に活動している第6地区社会福祉協議会。この「ふれあいまつり」は世代間交流を目的に開催され、毎年約1,000人もの人が来場する第6地区の大きなイベントです。地区社協と青少年指導員・体育指導委員による移動動物園や、山元小学校PTAによるくじ引きや駄菓子販売、民生委員児童委員による焼きそば販売など地域の方々の協力により開催されています。

昨年は「まちなかコーナー」として第6地区地区別計画策定プロジェクトも参加し、来場者にアンケートをとり第6地区をより良くしていくために取り組んでいきたいテーマについて地域の皆さんと一緒に考えました。アンケートは423件もの意見が集まり、地域の方々の関心の高さが伺えました。さらに、アンケート協力者には、地域の方々の協力により集まった素敵な賞品が当たる抽選会もあり、子どもから大人まで大変な盛り上がりをみせていました。

より良くしていくために取り組んでいきたいテーマとして最も多かったのは「隣同士のおつきあい」と「マナー」。地域の皆様からいただいた意見をもとに、第6地区の第2期計画のテーマを「地域のつながり～人と世代　ハートとハードのつながり」とし、早速、地域行事に多数参加してもらうために『イベントカレンダー』を作成して全世帯に配布しました。このように、ふれあいまつりを始め、サロンなどの地区社協活動を行っていく中で、第6地区の住民同士の結びつきはさらに強まっています。

第6地区の区域

大芝台、大平町、塚越、寺久保、西竹之丸、根岸旭台、根岸台、簑沢、山元町、滝之上・山手町の一部

新本牧地区社協

「みどり会」でお食事会&バスハイク

みどりに囲まれた閑静な住宅街を中心とした新本牧地区社会福祉協議会は、今年で発足4年目を迎えました。発足当初から地区の一人暮らし高齢者を対象に食事会（みどり会）を隔月1回、奇数月の第4土曜日に実施しています。一人暮らしでは普段作らない料理や、四季折々の趣向を凝らしたメニューを考え、参加した方々に喜ばれています。食事前にはいつも手品や歌などで参加した方々に和んでもらえる工夫をしたり、地域の防犯防災について考えてもらう場にしたりしています。また年1回、「おいしいものを食べにちょっと遠出を！」ということでバスハイクも実施しています。ランチクルーズをしたり、新鮮なお魚を食べに行ったり。参加する方々からの希望も聞いて行き先を決めるのに一苦労。苦労のかいあって、参加する方々の笑顔は絶えません。

また食事会の他に、新本牧地区連合と共催でスタンプラリーを毎年3月に実施しています。

今年で10回を迎え、地域の方ならどなたでも参加でき、毎年参加者は300名を超えます。コースは毎年ちょっとずつ変わり、みどり豊かな街の中を歩いたり、歴史を感じながら歩いたりと自分たちの街の魅力を再発見できるコースです。もちろんそれなりの距離もあり、歩きがいのあるコースになっていて、参加者の方々からは好評を得ています。

新本牧の区域

本牧宮原、本牧和田、和田山、本牧原の一部

中区見守り活動推進事業

みまもり安心グッズ

おふくろさん

オレンジ色の巾着袋のなかには、緊急連絡先などを記入する「あんしんカード」や、懐中電灯や笛、レジャーシートなど災害時に使用できるグッズが入っています。

全国的に高齢者の所在不明や、児童虐待による痛ましい事件などが社会問題化しています。中区は、高齢者の中で「ひとり暮らし」の方々の割合が高いという特性があり、地域との関わりが薄く、孤立し、不安を抱えている様子も見受けられます。

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる中区にしていくためには、地域の中で孤立する人が居なくなるよう、声かけや見守り、ちょっとした手助けなどができる『地域のつながり』や『住民同士の支え合い』を強くしていく必要があります。

中区では平成21年より、民生委員が中心となってひとり暮らし高齢者等に防災グッズ（懐中電灯、笛、緊急連絡先カードなど）をお届けすることで、「地域で見守りをしていく体制」の充実を図っています。これが『みまもり安心グッズ・おふくろさん』です。

今後はこの見守りを行なう『支援者の輪』を、なるべく多様な担い手にお願いできないかの検討もすすめ、中区の日常的な見守り体制をより充実していきたいと考えています。

「おふくろさん」は区民の方々から寄せられた日赤社資と共同募金の一部を財源に実施しています。

区社協だより

平成23年度　横浜市中区社会福祉協議会 事業計画

2つの重要テーマと7つの重点取り組みを柱に事業を進めていきます。
また、東日本大震災の被災地、そして被災された方への支援活動を関係機関・団体と連携、協力しながら積極的に取り組みます。

重要テーマ

- **地域のつながりと住民同士の支え合いの充実強化**
- **活動の継続・活性化と次代を見据えた人材育成**

7つの重点取組

Ⅰ.地域の“見守り力”を高めよう
孤立を防ぐため、近隣同士がお互いに関心を払うことや、様々な担い手による身近な見守り活動、さらには見守りのネットワークづくりを進めていこう

Ⅱ.子どもたちを育む世代間の繋がりを豊かにしよう
安心して子育てができ、子どもたちが明るく元気に育つ環境づくりを進めよう。地域の文化・催事や高齢者の経験・知恵を伝え、未来を担う次世代を育てよう

Ⅲ.地域の様々なネットワークを強くしていこう
子育て支援や高齢者・障害者支援、健康づくりなど、様々な取組を進めているボランティアや団体、機関・施設及び行政等のネットワークを充実強化していこう

Ⅳ.個性を認め合う共生社会を目指そう
高齢者や障害児・者、女性、子ども、外国人等それぞれの特性を理解し、それらの視点も生かした、誰もが安心して暮らせるやさしいまちをつくっていこう

Ⅴ.地域の人材を発掘し、育てていこう
様々な工夫や仕組みづくりをしながら、今必要とする人材を確保していこう。また、将来の地域を担う人材を育て、若い力や発想をとりこんでいこう

Ⅵ.中区の人材・育成を活かした取組を進めていこう
住む人だけでなく、働く人、学ぶ人、訪れる人、事業者や団体、機関・施設等、豊富な人材・資源を生かしながら、それぞれが力を合わせて取り組もう

Ⅶ.今ある活動を大切にして続けていこう
地域や行政委嘱委員、ボランティア、活動団体・グループなど、中区の地域福祉保健の推進を支える活動を大切にし、これからも活発に続けていこう

平成23年度　一般会計予算

	金額（円）
当期収入合計①	46,061,626
当期支出合計②	47,059,300
前期末支払資金残高③	18,169,163
当期末支払資金残高①-②+③	17,171,489

※詳細につきましては、ホームページに掲載します。

平成22年度　横浜市中区社会福祉協議会 事業報告

Ⅰ.知り合い、出会う大切さを育てよう
①福祉の啓発、広報活動
②地区社協活動の支援
③地域ケアプラザとの連携・支援
④地域見守り活動の支援
⑤福祉保健活動への助成事業　ほか

Ⅱ.住みよい環境をみんなでつくろう
①福祉教育の推進　②子育て支援
③外出・社会参加の支援
④福祉保健活動拠点・ボランティアセンターの運営
⑤あんしんセンター（権利擁護事業）の運営
⑥生活福祉資金貸付事業　ほか

Ⅲ.新しい取り組みを生み出そう
①福祉啓発・情報提供と相談　ほか

Ⅳ.交流のさかんなまちづくりをめざそう
①当事者の組織化・社会参加促進事業
②発達障害児地域支援事業　ほか

Ⅴ.区社協事業実施体制強化等のための事業
①理事会・評議員会・各種分科会等の開催
②社会福祉功労者顕彰等　ほか

Ⅵ.関係7団体の事務局機能
①日本赤十字社中区地区委員会
②中区安全安心推進協会
③共同募金会中区支会
④中保護司会
⑤中区更生保護女性会
⑥中区社会を明るくする運動推進委員会
⑦中区遺族会

平成22年度　一般会計決算報告

	金額（円）
当期収入合計①	58,805,898
当期支出合計②	53,001,688
前期末支払資金残高③	17,414,347
当期末支払資金残高①-②+③	23,218,557

※詳細につきましては、ホームページに掲載します。

～東日本大震災　中区から被災地へエールを～
中区社会福祉協議会・ボランティアセンターの取組み報告

義援金募金活動に中区のボランティア200名が集結

中区ボランティアセンターでは、3月11日に発生した東日本大震災の発生を受け、中区ボランティア連絡会と協力して、一人ひとりの力は小さくても、皆で手をつないで少しでも被災地に役立つことを実践しようと、「中区から被災地へエールを送ろう!」を合い言葉に、街頭での義援金募金活動に取り組んできました。

3月、4月、6月と計3回、小学生から80歳以上の登録ボランティア、延べ200名が参加して、関内駅前での街頭募金活動を実施。これまでに計485,929円の義援金を集め被災地へ送る事ができました。あらためまして、ここにご報告をさせていただきます。また、募金の呼掛けに応じてくださった区民の皆様、本当にありがとうございました。中区ボランティアセンターでは、今後も東日本大震災への支援や中区での防災啓発活動に、ボランティアの皆さんと協力して取り組んで行く予定です。しかし、まず基本は身近な所から…ボランティア活動に関心のある方は、一度ボランティアセンターまでお越し下さい。

100人で関内駅前での義援金募金（4月）

被災地支援ボランティア活動報告会（6月）

中区ボランティアセンター通信

"ボランティアにちょっと関心がある"あなたに

ボランティア講座に参加してみませんか

中区ボランティアセンターでは、「自分に何がむいているのかな?」「どんなことができるのかな?」と考えている方のはじめの一歩を応援します。
♪ 性別・年齢に制限はありません！まずは学習の秋にむけて各種講座をご用意しました。いざチャレンジ ♪

親子で参加OK!　夏休み福祉自由研究
夏休みふれあいワークショップ

障害のある方が先生になって、いろいろな作品を一緒に作りながら、障害者福祉の意味についても分かりやすく教えてくれます。小学生・中学生の皆さんお友達と参加してみませんか?

- 開催日時　8月24日（水）13:30～15:30
- 参加対象　どなたでも参加できます 30名
- 受付開始　8月11日（水）（先着順）
- 参加費　材料費（100円～200円）
- 会場　なか区民活動センター

視覚障害者への支援入門
「学ぼう!　誘導法の基礎」

目が見えないということへの理解を深め、「誘導」の技術の基本について、体験しながら楽しく学習します。

- 開催日時　9月15日/22日/29日　10:00～11:45　（木曜日・全3回）
- 参加対象　ボランティアに関心のある方 25名
- 参加費　無　料　　申込み締切　8月31日（水）（応募多数抽選）
- 会場　中区福祉保健活動拠点（産業貿易センタービル4階）

各講座のお申込みは…
中区ボランティアセンター
TEL:681-6664／FAX:641-6078
※FAXでお申込みの場合は、到着確認をお願いします。
Email：info@nakasha.net

まだ、間に合う!中学生・高校生のためのボランティア1日体験プログラム
「夏休みちょっとだけボランティアプロジェクト」

夏休み期間中に、福祉ボランティア活動をしてみたい学生の方のための参加プログラムです。

- 高校生コース　5つのコース
- 中学生コース　3つのコース

関心のある方、内容の詳細は、ボランティアセンターまでお問い合せ下さい。

予告　中区手話講座　11月開催予定
詳しくは広報よこはま・なか区版10月号をご覧下さい。

中区ボランティア連絡会より
バザー用物品寄付のお願い
募集中

中区ボランティア連絡会は区内のボランティア活動の活性化を目指し、ボランティアの情報交換や活動PRのための活動を行っています。その活動資金を得るため、福祉関係の祭りにバザーを出店する計画をしています。

趣旨にご賛同いただける方は、ご自宅に眠っている不要な物品をご寄付いただけないでしょうか? みなさまのご協力お願いいたします。

- 募集物品　未使用の日用雑貨（贈答品など）
  ※ただし古着、電化製品、置物、家具類は除く
- 受付期間　8月2日（月）～9月16日（金）9:00～16:00
- 寄付方法　寄付物品を事務局窓口へご持参いただきます。ただし、お引き取りできない物品もございますので、必ず事前に下記事務局までお問い合わせ下さい。

事務局：中区社会福祉協議会　TEL:681-6664

善意銀行への寄付をお願いしています
地域に役立てます みなさまのまごころ

地域福祉事業を推進するために区民のみなさまや企業・各種団体のみなさまから、額の大小を問わず善意の寄付を年間を通じて募集しています。

例えば…バザーや催し物などの収益金の一部を
歓送迎会やイベント会費の一部を
お問合せ:中区社会福祉協議会　TEL:681-6664
※寄付をした方は確定申告によって、限度額内で所得税法上の寄付金控除を受けることができます。